

令和3年10月15日 第70号

好地まちづくりだより

好地地区まちづくり委員会
総務企画部会

〒028-3101 花巻市石鳥谷町好地 8-78-3
(石鳥谷国際交流センター内)
問合せ・申込み 電話 0198-45-6639
(好地振興センター内)



出展作品募集【好地地区民文化祭（作品展示のみ）】

教育振興部会

まちづくり委員会主催の好地地区民文化祭を今年も開催しますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、石鳥谷国際交流センターに場所を移して、作品展示のみ開催することに決定しました。

（舞台公演・招待公演は今年も実施しません）

地区民の方の生涯学習活動の成果を鑑賞する場です。作品を幅広く募集しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

※出展を希望される方は、当委員会へ11月9日(火)までに連絡をお願いします。

- 展示作品 : 絵画、習字、手芸、生け花、陶芸、菊、盆栽等々
- 展示月日 : 11月13日(土)～14日(日)
- 展示場所 : 石鳥谷国際交流センター（好地振興センター） 交歓交流ホール



昨年度の作品展示会場の様子

酒蔵まつり秋の陣開催【ハロウィン テイクアウト・屋台村】

今年も、新型コロナウイルス感染症対策のために昨年と同様、宝峰跡地で「テイクアウト・屋台村」を開催します。皆様のご来場をお待ちしています。

写真・
イラスト

開催日：10月31日(日)11:00～15:00

場 所：宝峰跡地（旧まちの駅酒蔵交流館の西側）

※詳しくは、岩手日報10月16日（土）のチラシをご覧ください。

参加者募集【いきいき健康づくり 干支粘土細工教室】

保健福祉部会

毎年好評の干支粘土細工教室を今年も開催します。今回は来年の干支「寅(トラ)」を作ります。玄関やお部屋に飾ってはいかがでしょう。

一昨年で十二の干支をひと回りしましたが、皆さんはいくつ作りましたか。まだ、十二支そろってない方も、これからそろえようとする方もぜひ参加してください。

参加申し込みお待ちしております。

○日 時：令和3年11月19日（金）10時～11時30分

○場 所：石鳥谷国際交流センター 2階会議室

○定 員：20名（好地地区民）

○参加費：600円/人（当日徴収します）

○講 師：鎌田 友律子さん（好地17区在住）

○持ち物：はさみ、手ふき、作品を入れる箱

○申込期日：11月10日（水）までに。（電話可）



亥



子



丑



寅

参加者募集『地区民学習講座 盛岡市の歴史と文化財を知る』

教育振興部会

今年度は「盛岡市の歴史・先人・遺跡について、知識と教養を深める」と題して開催します。盛岡市の意外と知っているようで知らない盛岡市文化財施設を巡ります。

皆さんの参加申込みお待ちしております。

○日 時：11月17日（水）午前8時30分～午後4時30分頃

○研修先：盛岡市先人記念館（盛岡市本宮）
盛岡市遺跡の学び館（盛岡市本宮）
原敬記念館（盛岡市本宮）
もりおか歴史文化館（盛岡市内丸）

○参加費：1,600円/人
（入館料650円、昼食代800円、保険料125円
バス代25円）※残りのバス代は、まちづくり委員会が負担します

○定 員：15人（好地地区民）

※参加者が10人未満の時には中止とします。

○申込み：受付開始 10月28日（木）午前8時30分

受付〆切 11月 5日（金）午後5時

※ひとりで2名までとし、参加費を添えて申込みください。日程表をお渡しします。

※11月10日（水）を過ぎてからのキャンセルは、返金いたしかねますのでご了承ください。

お知らせ【土日祝日・夜間利用できます（一部制限あり）】

花巻市では、県内外の新型コロナウイルス感染症患者の確認状況から、**市関連施設の利用制限ガイドラインに規定するレベルを2に移行しました。**詳細は下記のとおりです。

※ただし、今後の感染状況等により、変更もありうるとのことです。

施設名称	石鳥谷国際交流センター (好地振興センター)	ビバハウスいしどりや	石鳥谷運動公園
利用団体	花巻市民・団体		
休館日	通常休館日 (毎月第2・4月曜日・年末年始)	通常休館日 (毎週火曜日・年末年始)	通常どおり
開館時間	8:00~22:00	9:00~21:00	
利用時間	2時間以内	通常どおり	
利用者人数	人数制限あり (部屋によって設定されていますのでお問合せください)		

部会員コラム【山車人形の凄み・勢い・艶やかさをじっくりと】

夏の暑さも去り、秋も深まりつつある今日この頃、先日中央通り商店街にある『小さな百貨店ぶらっと』に出向いたところ、石鳥谷まつりの山車人形が3体展示されておりました。

コロナの影響で石鳥谷まつりは昨年・今年と2年続けて開催中止となり、少し寂しく退屈な時間を過ごしてきたわけですが、町内の山車組3団体によって製作され10月29日まで展示、公開されているとのことであります。

普段じっくり間近で見ることのない山車人形は、その凄み、勢い、艶やかさで、僅かではありますが、まつりの雰囲気を感じ、思い出すことができました。

この先、一刻も早く終息に向かって、平穏な時が戻ることを切に願い、地域住民の皆様のご理解、ご支援、ご協力に敬意を表しながら来年こそは熊野神社の渡御とともに山車の運行で賑わうことをご期待いたします。



(E・K)